

補足 1-3 式(1.14)および式(1.15)の最小化

式(1.14)

$$SSE = \sum_{i=1}^N \left\{ \log \phi_{1/2,i} - (\log 2^{-1/\beta} + \log \phi_{1,i}) \right\}^2 \quad (1.14)$$

の最小化を考え易くするために、

$$y_i = \log \phi_{1/2,i}, \quad x_i = \log \phi_{1,i}, \quad \text{および} \quad a = \log 2^{-1/\beta}$$

とおく。このとき、式(1.14)は次式となる。

$$\begin{aligned} SSE &= \sum_i \{y_i - (a + x_i)\}^2 \\ &= \sum_i \{(y_i - x_i) - a\}^2 \end{aligned}$$

上式を最小にするパラメタ a の値が平均値で与えられることはよく知られている。すなわち、

$$a = \frac{1}{N} \sum_{i=1}^N (y_i - x_i)$$

上式により与えられる a の値に対して β の値を求める式が、以下のように導かれる。

$$\begin{aligned} \log 2^{-1/\beta} &= a \\ \frac{-1}{\beta} \log 2 &= a \\ \beta &= -\frac{\log 2}{a} \end{aligned}$$

式(1.15)

$$SSE_1 = \sum_{i=1}^N \left[\log \phi_{1/2,i} - \log \left\{ 2^{-1/\beta} \phi_{1,i} + \theta(1 - 2^{-1/\beta}) \right\} \right]^2 \quad (1.15)$$

の最小化は、共役勾配法によって行うことができる。式を見やすくするために

$$b = 2^{-1/\beta}, \quad b > 0$$

とおくと、式 (1.15) は次式となる。

$$SSE_1 = \sum_i [\log \phi_{1/2,i} - \log \{b\phi_{1,i} + \theta(1-b)\}]^2 \quad (\text{附 1.3.1})$$

このとき、勾配を与える偏導関数は次式で与えられる。

$$\frac{\partial SSE_1}{\partial b} = \sum_i 2[\log \phi_{1/2,i} - \log \{b\phi_{1,i} + \theta(1-b)\}] \times \left\{ -\frac{\phi_{1,i} - \theta}{b\phi_{1,i} + \theta(1-b)} \right\}$$

$$= 2 \sum_i [\log \phi_{1/2,i} - \log \{b\phi_{1,i} + \theta(1-b)\}] \times \frac{\theta - \phi_{1,i}}{b\phi_{1,i} + \theta(1-b)}$$

$$\frac{\partial SSE_1}{\partial \theta} = \sum_i 2[\log \phi_{1/2,i} - \log \{b\phi_{1,i} + \theta(1-b)\}] \times \left\{ -\frac{1-b}{b\phi_{1,i} + \theta(1-b)} \right\}$$

$$= 2 \sum_i [\log \phi_{1/2,i} - \log \{b\phi_{1,i} + \theta(1-b)\}] \times \frac{b-1}{b\phi_{1,i} + \theta(1-b)}$$

パラメタ b と θ には、次式で与えられる制約がある。

$$b > 0, \quad \theta < \min\{\phi_{1,i}, \phi_{1/2,i}\} = \theta_0$$

上式の制約条件の下で極値探索を行うために、次の変数変換を行う。

$$b = \varepsilon + s^2, \quad \theta = \theta_0 - \varepsilon - t^2$$

ここで、 ε は十分に小さい正数である。

これらの変換変数の偏導関数は次式で与えられる。

$$\frac{\partial SSE_1}{\partial s} = \frac{\partial SSE_1}{\partial b} \cdot \frac{db}{ds} = 2s \frac{\partial SSE_1}{\partial b}$$

$$\frac{\partial SSE_1}{\partial t} = \frac{\partial SSE_1}{\partial \theta} \cdot \frac{d\theta}{dt} = -2t \frac{\partial SSE_1}{\partial \theta}$$